

部品交換要領書

玄関ドア フロント[PD型]・ヴェナート[JD型]用 主錠ケース

HHW12-101
2014年12月発行



作業の前に必ずお読みください

部品交換・調整についてはお客様ご自身の責任のもと行ってください。
部品交換・調整に伴う事故や破損については、当社は一切の責任を負いかねます。
部品交換・調整手順が不明の場合は、パーツセンターホクセイまでお問い合わせください ☎ 077-621-0821

作業にあたって

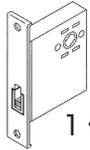
部品を正しく交換していただくために、本説明書の内容をご理解いただき作業を行ってください。
部品取り付け用ねじを最後まで正しくしめつけてください。(不具合の原因となりますので、電動工具は使用しないでください。)
安全のため、安全上の注意事項にしたがって作業を行ってください。

安全上の注意事項

お願い

強風や大雨など悪天候時は、ドアが急に閉じる危険がありますので作業は行わないでください。
取りはずしや仮置きの際、傷をつけないよう床や部品をダンボール等で保護してください。
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

同梱されているもの

| 主錠ケース | 取付ねじ | 交換要領書 |
|---|---|---|
| HH-4K-13840 HH-4K-13859  1個 |  主錠ケース本体 取り付け用：2本 |  1枚 |

作業のために準備していただくもの

| プラスドライバー | マイナスドライバー |
|--|---|
|  1本 |  1本 |

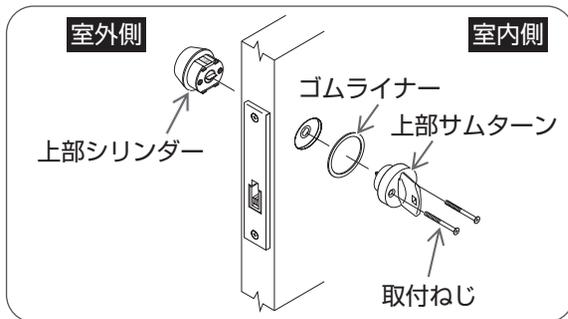
※部品が全てそろっていることを確認してください。
※主錠ケース本体は1個のみ同梱されています。上下ともに交換される場合、2個必要です。

部品の取りはずし方：上部主錠ケース交換の場合

お願い

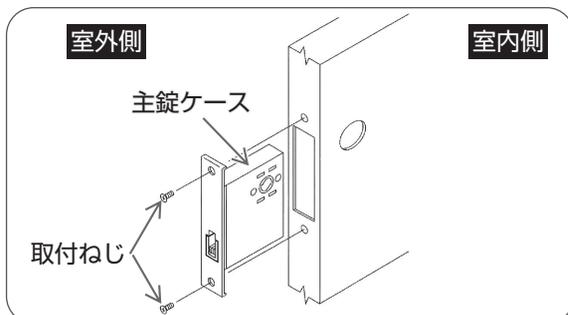
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 上部サムターン(通常サムターン)とシリンダーの取りはずし



①室内側よりプラスドライバーでサムターンの取付ねじをはずし、サムターンおよびシリンダーを取りはずす。
※取付ねじをはずすと、シリンダーがはずれます。落下にご注意ください。
※サムターンには上下があります。はずした際識別できるように印をつけてください。
※取りはずしたシリンダーとサムターンおよび取付ねじは、取り付けの際使用しますので、なくさないでください。

2 主錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで主錠ケースの取付ねじをはずし、主錠ケースを取りはずす。

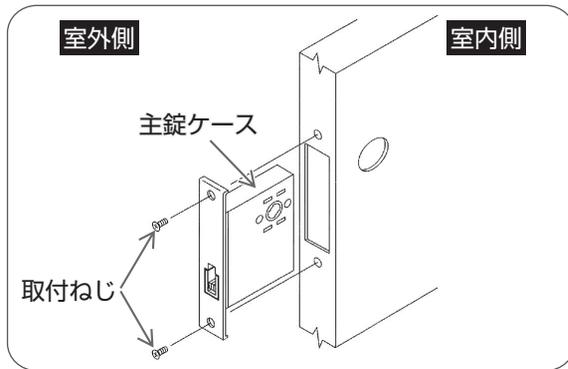
※部品の取り付け方は2ページをご覧ください。

部品の取り付け方：上部主錠ケース交換の場合

お願い

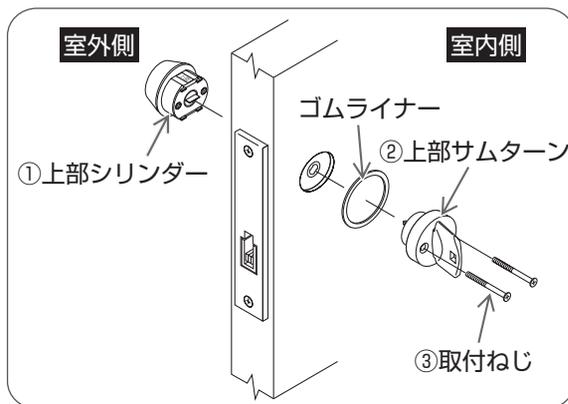
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 主錠ケースの取り付け



錠ケースを取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

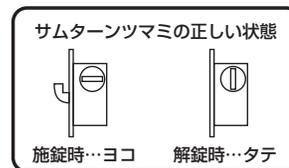
2 上部サムターン(通常サムターン)とシリンダーの取り付け



①室外側よりシリンダーをマーク「M I W A」を上側にして差し込む。



②はずしていたサムターンの上下を確認してから、室内側よりサムターンのつまみを施錠状態に合わせて差し込む。



③プラスドライバーで取付ねじを仮止めし、サムターンつまみの動きがよい所でしめる。

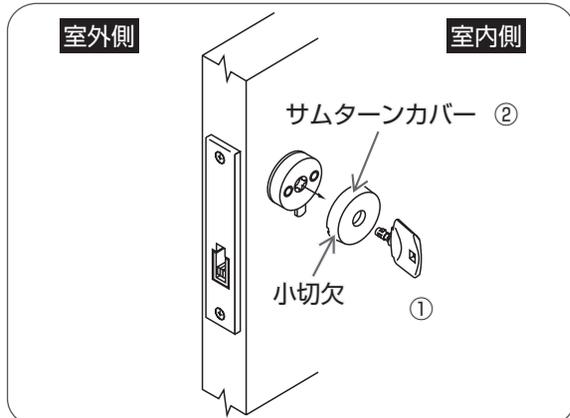
※部品の取りはずし方は1ページをご覧ください。

部品の取りはずし方：下部主錠ケース交換の場合

お願い

素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをするおそれがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 下部サムターン(脱着サムターン)とシリンダーの取りはずし



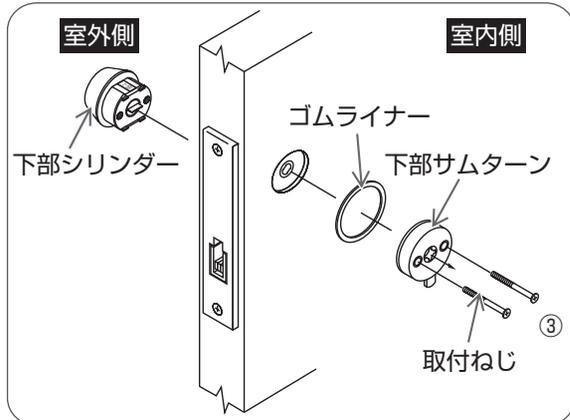
①サムターンカバー下部の白いボタンを押しながらサムターンツマミをはずす。



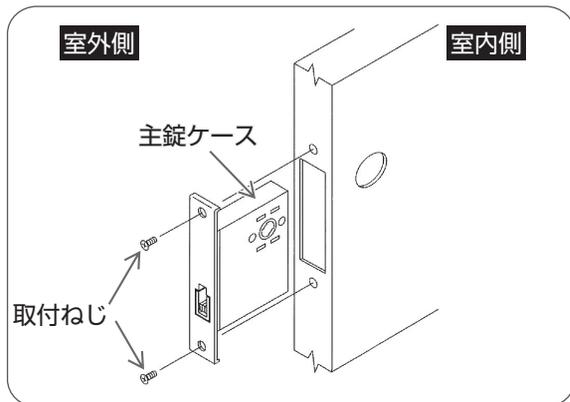
②サムターンカバーの小切欠きにマイナスドライバーを差し込み、サムターンカバーをはずす。
※マイナスドライバー等を差し込む際、ドアにキズが付かないように注意してください。

③室内側よりプラスドライバーで取付ねじをはずし、サムターンおよびシリンダーを取りはずす。
※取付ねじをはずすと、シリンダーがはずれます。落下にご注意ください。

※取りはずしたシリンダーとサムターンおよび取付ねじは、取り付けの際使用しますので、なくさないでください。



2 主錠ケースの取りはずし



プラスドライバーで錠ケースの取付ねじをはずし、錠ケースを取りはずす。

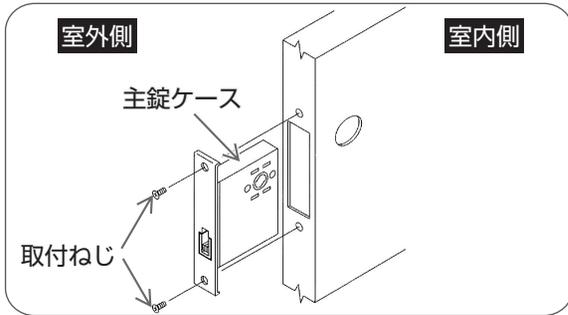
※部品の取り付け方は4ページをご覧ください。

部品の取り付け方：下部主錠ケース交換の場合

お願い

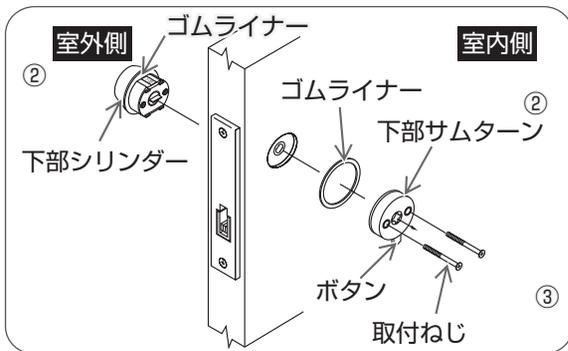
素手での作業は加工穴や部品のエッジ(とがった角)でけがをすることがあります。
軍手などの保護具を着用して作業を行ってください。
ドアを開けた状態で、必ずドアをストッパー等で固定して作業をお願いいたします。

1 主錠ケースの取り付け



錠ケースを取付穴に差し込み、プラスドライバーで取付ねじをしめる。

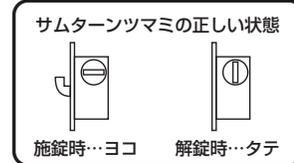
2 下部サムターン(脱着サムターン)とシリンダーの取り付け



① 室外側よりMIWAマークを上側にしてシリンダーを差し込む。



② はずしていたサムターンのボタンを下にして室内側よりサムターンのつまみを施錠状態に合わせて差し込む。



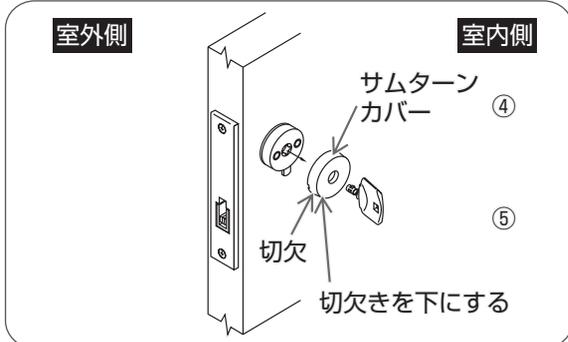
③ プラスドライバーで取付ねじを仮止めし、サムターンつまみを差し込み動きのよい所にしめる。

④ ボタンを押しながらサムターンつまみははずしサムターンカバーをはめ込む。

⑤ サムターンつまみを差し込む。

※サムターンつまみは、ボタンを押さなくても差し込むことが可能です。

※サムターンつまみは、施解錠方向に注意して差し込んでください。逆方向では差し込みできません。



部品の交換後のチェック



① 部品にガタつきがないことを確認してください。

② 取付ねじの締めつけすぎで部品が変形していないことを確認してください。

③ 錠にカギを差し込み、施解錠ができることを確認してください。

④ サムターンをまわし、施解錠ができることを確認してください。

⑤ 取付ねじを強く締めると、施解錠が固くなる場合がありますので、その場合は取付ねじの締めつけを調整してください。

※部品の取りはずし方は3ページをご覧ください。